

セミナーテーマ 終末期がん患者に対する緩和的作業療法を考える



作業療法士
池知良昭

メッセージ

終末期がん患者に対する作業療法では、患者にとって重要な作業を同定し、段階づけ、患者の残存能力のみならず、物的・人的支援により、その作業の達成を目標とし、取り組む。

しかし、自らの実践に自信が持てず、悩んでいる臨床家も多いのではないだろうか。

本セミナーでは、終末期がん患者を取り巻く状況や SROT-TC を利用した作業療法実践例を話題として挙げる。

本セミナーが終末期がん患者に対する作業療法を再考するきっかけになれば幸いである。

ご略歴

所属:香川県立丸亀病院

2003 年 3 月 国立善通寺病院附属リハビリテーション学院作業療学科卒業

2003 年 4 月 香川県庁入庁。

香川県身体障害者総合リハビリテーションセンターに派遣

2006 年 4 月 香川県立中央病院リハビリテーション部作業療法科へ異動

2018 年 4 月 香川県立丸亀病院作業療法室へ異動

2019 年 3 月 放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了 修士(学術)

2021 年 4 月 香川県立白鳥病院リハビリテーション科へ異動

2022 年 3 月 川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科

リハビリテーション学専攻博士後期課程修了 博士(リハビリテーション学)

2022 年 4 月～東京都立大学大学院人間健康科学研究科客員研究員・非常勤講師

2024 年 4 月～香川県立丸亀病院作業療法室へ異動

2024 年 9 月～京都大学大学院医学研究科・医学部非常勤講師 現在に至る